

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	農業総務事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 經常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
農業改良普及協議会：山陽小野田市・宇部市・JA山口宇部で構成された協議会。改良普及事業を行うほか各種農業グループの育成を行う。 農林振興公社：県内の全市町が参加。農山漁村の振興事業を展開。	協議会や公社が各種事業を実施。農業経営の近代化を促進し、農家の社会的経済的地位の向上を図る。	負担金を交付し、各団体が行う事業を支援。担い手育成対策事業等を展開。	
活動指標		成果指標	
団体加入		事業数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
2団体	2団体	15	15
成果指標の到達度 (B/A) 100%			

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	389,000	389,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		389,000	389,000	
合計		389,000	389,000	合計		389,000	389,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	野菜価格安定事業負担金					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 經常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
指定野菜(14品目)の価格が著しく低落した場合に、生産者補給金を交付することにより、野菜農家の経営に及ぼす影響を緩和し、次期作の確保と、消費者への野菜の安定的な供給を図る。  (本市はタマネギとブロッコリーの2種類が対象)	野菜農家の経営安定、産地づくりの推進。	指定野菜生産農家の経営安定及び産地作りの推進。価格低落時の生産者への補給金	
活動指標		成果指標	
事業に加入		対象野菜作付面積	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1件	1件	9.4ha	9.98ha
成果指標の到達度(B/A)			
106.2 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	50,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		50,000	0	
合計		50,000	0	合計		50,000	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
対象野菜の種類拡大と野菜のブランド・産地化を図る。	関係機関との連携強化。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	農業施設整備事業補助金					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 經常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
整備された農業用施設により、地域の農業振興及び地場産農産物を利用した特産品の開発に成果がある。	地域の農業振興、地場産農産物を利用した特産品の開発。	対象施設 北部ライスセンター、育苗センター、小正寺ライスセンター、農産物加工所	
活動指標		成果指標	
補助金額		事業償還金累計額	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
9,896千円	9,896千円	148,448千円	127,740千円
			成果指標の到達度(B/A)
			86.1%

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	9,895,799	9,895,378	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		9,895,799	9,895,378	
合計		9,895,799	9,895,378	合計		9,895,799	9,895,378
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
なし。	なし。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	経営基盤強化資金利子補給事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業総務費	細々目	4	経営基盤強化資金利子補給事業
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
経営拡大その他経営発展を図るのに必要な、農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成を行う。	資金の借り入れについては、市が設置している協議会で関係機関により協議し、借り入れの認定を行う。	資金使途：農地、施設、機械等。限度額：個人 1億5千万円、法人 10億円。償還期間：25年以内(据置期間10年)。※事業対象者(借入総額・償還終了)：花の海(940,000千円・H38年)、グリーンハウス(10,000千円・H26年)。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
関係団体との情報確認回数		制度利用者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
12回	12回	2法人	2法人	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	2,061,201	2,061,201	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金	1,030,599	1,030,599
					地方債		
					その他		
			一般財源		1,030,602	1,030,602	
合計		2,061,201	2,061,201	合計		2,061,201	2,061,201
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
新規制度利用希望者への利用拡大	予算確保
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	県とともに実施している事業。

課名		農林水産課		農林係		No	400		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業近代化資金利子補給金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
本資金と同様の農業経営基盤強化資金(スーパール資金)において、市の財政状況から平成19年度の新たな借入れに対する利子補給を断っており、本資金においても同様の対応を取らざるを得ない状況になっている。		農業者等の資本装備の高度化を図るとともに、農業経営の近代化に役立っている。		農業者等に対し農業協同組合等の融資機関が行う農業施設資金等の融資を円滑に行うため、県、市が当該融資機関に対して利子補給措置を講じ、農業経営の近代化を図る。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
関係団体との情報確認回数			制度利用者数		
目標値(単位)		実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
12回		12回	2人	2人	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	15,000	15,000	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金	7,499	7,499
					地方債		
					その他		
			一般財源		7,501	7,501	
合計		15,000	15,000	合計		15,000	15,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
新規制度利用希望者への利用拡大			
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	県とともに実施している事業。		

課名	農林水産課	農林係	No	404
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
12 魅力と活力ある産業の振興	3 農業の振興	1 農業の担い手の育成		
事業名 農業管理センター運営費補助金				
款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目
細目	1 農業振興事業費	細々目	1 農業振興事業費	会計種別
事務区分(根拠法令)		自治事務	予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
農業管理センターは、直接農業者の窓口となるだけでなく、市、農業委員会、県、国、JA等の関係機関が定期的に担い手の育成・確保、農業生産組織の育成等について協議しており、重要な役割を担っている。現在、国において関係機関が1か所に集まったワンフロアサービスを推進しており、農業管理センターはその役割を果たしている。	関係機関、団体が定期的に協議を行う場(農業管理センター)があることで、本市の農業の現状や今後の方向性についても情報共有できることから、大きな役割を果たしている。	JA山口宇部の小野田地区(小野田営農総合センター)、山陽地区(山陽総合営農センター)の2か所に設置してある農業管理センターの運営費の一部(人件費)を助成。また、山陽地区で行われている農作業受委託部会が、農業用機械を移動させるためのトラックレンタル料の助成を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
会議数		情報共有回数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
23回	23回	23回	23回	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	992,000	992,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		992,000	992,000	
合計		992,000	992,000	合計		992,000	992,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,482,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
なし。	なし。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	戸別所得補償制度推進事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業総務費	細々目	5	戸別所得補償制度推進事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成22年度から始まった戸別所得補償制度における推進事務費。(国事業名：戸別所得補償制度導入推進事業補助金。)	生産調整事務の円滑な実施。	戸別所得補償制度の推進にかかる、生産調整の事務等に係る経費についての補助金。国事業で10/10の補助率で行われている。事業の主な内容としては、水稻生産実施計画書(細目書)の作成及び生産調整実施者の確認、申請手続き等を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
会議開催回数		戸別所得補償加入者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	99.9 %
7	7	861	860	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	261,504	261,504	財(源割内訳)	国庫支出金		
	人件費	1,440,000	1,190,782		県支出金	260,000	260,000
					地方債		
					その他	委託料	1,440,000
合計	1,701,504	1,452,286	合計	1,700,000	1,450,782		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.55	4,898,640				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
水稻生産数量目標の調整	関係機関等と連携し、啓発。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	やまぐち集落営農生産拡大事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	新規 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
食料自給率向上と持続可能な農業構造への転換を確実に進めるため、集落営農法人等が取り組む生産拡大を支援するとともに、これら法人等を核とした米麦大豆・野菜等の産地づくりを推進する。	米の生産調整達成。主穀、園芸作物の産地振興。担い手の経営安定、意欲向上。学校給食への供給を含む産地地消の推進。	生産条件整備支援対策 主穀用共同利用機械 県補助率1/2 実施主体：和の郷、川上、七日町 トラクター、施肥播種機、ライムソー、サイドリッチャー、アッパーロータ、マニユアスプレッダ 園芸用共同機械・施設 県補助率1/3 実施主体：石束、川上 玉葱選別機、仕上げ機、パイプハウス、マニユアスプレッダ、超砕土成形ロータリ、マルチ装置	
活動指標		成果指標	
共同機械(乗用管理機ほか)の導入		麦作、カボチャ、タマネギ面積の拡大	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
トラクター他アタッチメント パイプハウス マニユアスプレッダ他	3式 1棟 2式	7.4ha 2.6ha 0.8ha	7.1ha 2.7ha 0.8ha
			98.1 %
			成果指標の到達度(B/A)

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	9,188,000	8,533,000	財(源内訳)	国庫支出金		
					県支出金	9,188,000	8,533,000
					地方債		
					その他		
合計	9,188,000	8,533,000	一般財源				
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		0.15	889,500	9,188,000 8,533,000			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
農業者から、生産調整、農業振興、経営安定施策に係る市独自支援に対する要望が強いが、実施されていない。	単市支援策について検討
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	



施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	地域担い手育成総合支援協議会運営事業					
予算費目	款		項		目	
	細目		細々目		会計種別	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市、県、関係機関等が協議会を組織し、担い手の経営基盤の確立・強化、耕作放棄地の解消等に向けた支援を行う。		①農地利用集積円滑化事業 ②耕作放棄地再生事業 ③担い手育成支援事業		①農地の面的集積・連坦化により経営規模を拡大する農業者に対する支援 ②耕作放棄地の再生に対する補助 ③経営体育成支援事業による機械補助	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
事業実施箇所			再生作業 営農定着		
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
2箇所		2箇所		159a 81a	
				81a	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源内合訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
				一般財源			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,779,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
・新規就農の推進等を図るための独自の活動費がない。		市からの補助金交付。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業		

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	農業振興地域整備計画事業					
予算費目	款		項		目	
	細目		細々目		会計種別	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
農林水産大臣が定める「農用地等の確保等に関する基本方針」を基に県は「農業振興地域整備基本方針」を策定、市は「農業振興地域整備計画」を策定する。計画策定年度：平成22年度	対象：①農業振興地域内農用地区域 ②土地所有者や土地開発等業者 農業振興を図っていく地域を農用地区域として設定し、優良農地の確保・保全に努める。社会情勢の変化による農地の開発需要に対し、営農環境の保全に留意した適正な土地利用へ誘導する。	農業振興地域整備計画における農用地利用計画の農用地区域から農用地等以外の用途に供することを目的として提出された除外申し出等により、農用地区域の計画的利用のため農業振興地域整備計画の変更を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
経済事情の変動その他情勢の推移を勘案しながら、農業振興地域整備計画を随時見直ししていく。		農業振興地域及び農用地区域の設定を行いながら、農業における効率的な土地利用と農業振興に寄与する。		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
	変更回数 2回		農用地区域 1,084ha	%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
				一般財源			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題	改善策
除外要件や農業委員会等の意見、都市計画法その他の定めを満たす必要性があり、的確な適否判断を要する。	除外申出前の相談に伴う現地確認や県との連絡調整を密にする。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	利用権設定等促進事業					
予算費目	款		項		目	
	細目		細々目		会計種別	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業者の高齢化や兼業化、また後継者がいないなどの理由により、農作業や農地の管理を任せたいという農地所有者と、農地を借りて経営規模を拡大したいという希望を持つ農業者との間に市が入り、農業経営基盤強化促進法に基づき農地の貸し借り等を農地法によらずに行う。		農地の貸し借り等について農用地利用集積計画を定め、農地の流動化を図る。		農用地利用集積計画の策定、公告を行う。	
活動指標			成果指標		
農用地利用集積計画数(筆数)			利用権設定面積		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
-		526筆		%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
-		81.3ha			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
合計		0	0	一般財源			
				合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,256,560				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
なし。	なし。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	青年就農給付金事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	新規 臨時

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
国は、平成24年度新たに新規就農総合支援事業を創設し、青年の新規就農者を大幅に増加させる対策を打ち出した。 就農直後の新規就農者は経営が不安定であり、営農を継続していけるよう、所得を補完できる本制度が創設された。	給付金を1人あたり年間150万円、最長5年間給付することで、新規就農者の所得を確保。青年の就農意欲の喚起と就農定着を図る。	年間1人あたり150万円 原則、就農時の年齢が45歳未満 給付期間は最長5年間	
活動指標		成果指標	
給付金支給		新規就農者	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
2名	2名	2名	2名
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	3,000,000	3,000,000	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金	3,000,000	3,000,000
					地方債		
					その他		
			一般財源				
合計		3,000,000	3,000,000	合計		3,000,000	3,000,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,482,500				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業(ソフト)					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	5	土地改良事業費	細目	1	土地改良事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続
						臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
排水機場の施設全体の老朽化が進み、防災上の観点からも早急に改修の必要がある。	効率的な水利用、管理労力の低減。大雨の安全の確保。	県営事業により、老朽化した排水機場等の施設を改修するための基礎資料となる機能診断・機能保全計画の作成を行う。対象となる施設は高千帆・厚狭中・後潟・古開作・沖開作の各排水機場及び寝太郎堰。	
活動指標		成果指標	
負担額(事業費の25%)		機能診断実施施設数・保全計画策定施設数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
3,250(千円)	2,319(千円)	6(施設)	6(施設)
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	3,250,000	2,319,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		3,250,000	2,319,000	
合計		3,250,000	2,319,000	合計		3,250,000	2,319,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)後潟上地区					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	5	土地改良事業費	細目	10	県営経営体育成基盤整備事業
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続
				継続	臨時	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
後潟地区では、H3～H10年度で南側37haの区画整理を実施、北側の27haが未整備となっている。地元から整備の要望が強く、合意形成も整うことから残りの区画整理を実施する。	農作業の効率化 農地の区画整理による経営体の育成	県営事業として、後潟上地区の27haの農地を対象に、ほ場整備を実施する。 24年度は、ほ場整備基礎資料となる県による調査(市負担額50%)及び単独市費による促進計画作成を行う。	
活動指標		成果指標	
ほ場整備対象農地面積		基礎調査及び促進計画策定数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
27(ha)	27(ha)	1(計画)	1(計画)
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	2,000,000	1,837,500	財源(割内訳)	国庫支出金		
	負担金、補助及び交付金	500,000	498,000		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		2,500,000	2,335,500	
合計		2,500,000	2,335,500	合計		2,500,000	2,335,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
平成25年度の法手続きをスムーズに実施する。	地元農業者とのコンセンサスを深め、実態を把握する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	土地改良区等事業推進費補助					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農地総務費	細々目	1	農地総務費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
土地改良区等が維持管理している排水機場等の土地改良施設の適正な運転のための維持管理費の助成、事業償還金補助を行う。 高千帆土地改良区、後潟土地改良区、南高泊干拓農協、古開作土地改良区、山陽土地改良区(永安台沖開作地区)、厚狭寝太郎堰土地改良区	土地改良施設の維持管理について地元で行ってもらうことで効率化を図る。	大雨、台風などの異常気象時や満潮時のなど自然排水が不可能な時、排水機場を稼働し強制排水を行う。また厚狭川増水時には寝太郎堰水門を閉鎖し、市内に流入する水量を抑え、災害を未然に防止する。これらの維持管理に係る経費について土地改良区からの申請により補助金を交付する。	
活動指標		成果指標	
基幹水利施設数(各排水機場及び寝太郎堰)		排水機場稼働必要日数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
6(施設)	6(施設)	78(日)	78(日)
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	72,501,950	72,174,978	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		72,501,950	72,174,978	
合計		72,501,950	72,174,978	合計		72,501,950	72,174,978
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	578,740				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
市内の主要な排水手段である排水機場ポンプの老朽化が進み、管理者の負担が大きくなっている。	市にとって欠かせない重要な施設なので、国・県の事業を活用し、大規模な改修・更新を計画的に行う。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業負担金					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農地総務費	細々目	1	農地総務費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
土地改良事業等で整備した農業用施設が耐用年数を経過するなど老朽化が進み、維持管理労力が大きい施設について計画的に改修整備を行う。 対象となっている小城川第二堰は扉体下部が腐食のため大きく欠落しており、堰として機能していないので、早急な施設改善が求められている。	維持管理の省力化、老朽化施設の計画的な改修により、営農の効率化を図る。	事業費を国30%、県30%、地元40%(市30%)の負担割合とし市の負担分について、5年に分けて積立を行う。工事実施年度において、積み立てた事業費が交付される。小城川第二堰の総事業費は550万円 積立期間はH20~H24 国・県・市の年度毎の積立額は各33万円 地元負担額は55万円 工事実施年度は23年度。今年度は積立のみ行う。差額は事務分担当		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
改修対象施設数		積立額(累計額24年度は最終年度)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
1(箇所)	1(箇所)	1,650(千円)	1,650(千円)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	347,000	343,500	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		347,000	343,500	
合計		347,000	343,500	合計		347,000	343,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
特になし。			
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			



課名	農林水産課	耕地係	No	377
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
12 魅力と活力ある産業の振興	3 農業の振興	2	農業の基盤の整備	
事業名 農地総務事業				
款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目
細目	1 農地総務費	細々目	1 農地総務費	会計種別
事務区分(根拠法令)			自治事務	予算種別
			継続	經常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
一般事務 農地・土地改良施設維持管理に係る事務	農地・土地改良事務に関する一般事務	一般事務 農地・土地改良施設維持管理に係る事務 会員となっている山口県土地改良事業団体 連合会への負担金、積算システムの更新保 守委託料、高千帆排水機場のゴミ処理委託 料、車のリース代などを支出している。	
活動指標		成果指標	
数値化困難		数値化困難	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
%			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	822,000	821,760	財源(割内訳)	国庫支出金		
	需用費	659,410	656,103		県支出金		
	委託料	567,000	509,400		地方債		
	使用料及び賃借料	561,000	560,700		その他		
	その他	212,640	197,209		一般財源	2,822,050	2,745,172
合計		2,822,050	2,745,172	合計		2,822,050	2,745,172
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	578,740				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである 又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題	改善策
特になし。	
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	小規模土地改良事業助成金					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	細目	1	農地総務費	細々目	1	農地総務費
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続 經常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
単県事業等の要件に合わない事業について市の単独事業として地元からの要請により事業を行う。毎年要望があり、緊急性等を考慮し、事業を実施する。	営農の保全及び向上を図る。	ため池や用排水路、農道など農業用施設として使用者が維持管理している施設を対象とし、水利組合等からの要望により改修などの事業を実施する。 工事の発注、施工管理などは地元で行い、市はその工事費に対し補助金を交付する。	
活動指標		成果指標	
予算に対する実施件数		申請件数に対する実施件数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
15(件)	14(件)	37(件)	14(件)
			成果指標の到達度(B/A)
			37.8%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	9,191,000	9,175,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		9,191,000	9,175,000	
合計		9,191,000	9,175,000	合計		9,191,000	9,175,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,779,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
毎年新規の申請が15件程度あり、次年度に繰り越さないためにも15件程度の補助を実施したいが、予算の制約もあり、実施できない状態が続いている。	事業実施まで3年待ちの状態であるが、事情を説明し、理解をいただいている。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	待機件数23件
-----	---------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	単市土地改良事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	5	土地改良事業費	目	5	土地改良事業費
	細目	1	土地改良事業費	細々目	1	土地改良事業費
					会計種別	一般
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
簡易な補修整備等、国や県の補助事業の要件を満たさない事業を実施することで農業施設等の整備を行う。	営農の保全及び向上を図る。	市が管理する土地改良施設について毎年、予算の範囲内で優先順位を決めて事業を行う。原材料支給については地元の自治会や水利組合からの申請により必要な材料を支給する。	
活動指標		成果指標	
工事請負金額		整備件数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
4,500(千円)	2,142(千円)	20(件)	10(件)
			成果指標の到達度(B/A)
			50%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	400,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金		
	原材料費	950,000	611,593		県支出金		
	工事請負費	4,500,000	2,141,475		地方債		
					その他		
			一般財源		5,850,000	2,753,068	
合計	5,850,000	2,753,068	合計	5,850,000	2,753,068		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,482,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
排水機場等の施設の老朽化が進んでおり、補修・整備を要する箇所が多く、金額も大きい。単市土地改良事業では対応できない状況である。	国や県の補助事業を活用し、排水機場等の施設の整備・更新を計画的に実施していく。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業(殿町堰)					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	5	土地改良費	細目	3	土地改良施設維持管理適正化事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	新規 臨時

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
現在、堰板で用水の堰上げを行っているが、水路幅が広く、水量も多いため、日常管理に危険が伴っている。また、洪水時の対応が非常に困難であり、大変に危険な状況になっている。早急な施設改善が求められている。	災害防止、維持管理労力の低減及び危険防止	事業費を国30%、県30%、地元40%(市30%)の負担割合とし、市の負担分について5年に分けて積立を行う。工事実施年度において積み立てた事業費が交付される。殿町の堰の総事業費は1,100万円。積立期間はH24~H28。国県市の年度毎の積立額は各66万円。工事実施年度は26年度。今年度は積立のみ行う。差額は事務負担金。	
活動指標		成果指標	
改修対象施設数		積立額(累計額、今年度は初年度)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1(箇所)	1(箇所)	3,300(千円)	660(千円)
			成果指標の到達度(B/A)
			20%

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金)	756,000	700,600	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		756,000	700,600	
合計		756,000	700,600	合計		756,000	700,600
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

## 4 ACTION

課	題	改	善	策
特になし。				
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)		
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当	
その他				

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業(ハード)・高千帆排水機場					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	土地改良事業費	細々目	1	土地改良事業費
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	新規 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
本施設は昭和44年に築造され、42年が経過している。部品交換等を実施し、運転しているが、老朽化による能力低下が10%~20%程度見込まれるため、防災上の観点から早急に更新の必要がある。	管理労力の低減、豪雨等への効率的運転及び安全の確保。	県営事業により老朽化した高千帆排水機場の機器等を実施計画に基づき更新する。市はその負担金(25%)を支出する。 事業実施期間はH24~H29 H24~H25は詳細な実施設計書を作成する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
改修予定施設数		負担額(事業費の25%)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
1(施設)	1(施設)	5,000(千円)	5,000(千円)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	5,000,000	5,000,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		5,000,000	5,000,000	
合計		5,000,000	5,000,000	合計		5,000,000	5,000,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
高千帆地区の排水対策のため、早急な改修が必要。	

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業(ハード)・厚狭中排水機場					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	土地改良事業費	細々目	1	土地改良事業費
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	新規 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
本施設は昭和49年に築造され、37年が経過している。部品交換等実施し、運転しているが、老朽化による機能低下が10%~20%程度見込まれるため、防災上の観点から早急に更新の必要がある。	管理労力の低減、豪雨等への効率的運転及び安全の確保。	県営事業により老朽化した高千帆排水機場の機器等を実施計画に基づき更新する。市はその負担金(25%)を支出する。 事業実施期間はH24~H30 H24~H25は詳細な実施設計書を作成する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
改修予定施設数		負担額(事業費の25%)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
1(施設)	1(施設)	5,000(千円)	5,000(千円)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	5,000,000	5,000,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		5,000,000	5,000,000	
合計		5,000,000	5,000,000	合計		5,000,000	5,000,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
高泊地区の排水対策のため、早急な改修が必要。	
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	農業委員会事務								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費
	細目	1	農業委員会事務局費	細々目	1	農業委員会事務局費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (農業委員会等に関する法律)			予算種別	継続	経常		

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順				
農業委員会は、優良農地の確保及びその有効利用、担い手の確保などの役割が期待されており、農地を守り、力強い農業を作っていくこととされている。今後は農業関係予算の増額や農業委員会の役割も増えることが予想される。		農業生産力及び所得の向上をめざし農地の集約化、経営の合理化、遊休農地の有効利用などが目標になる。また、高齢化対策等担い手確保が急がれる。		農業委員会は、月に1度現地調査と農業委員会総会を行い、適正な許可に努める。また、農地の斡旋等を行い、担い手(後継者)の育成や農業者年金の普及にも努める。さらには年に一度農業委員会だよりを発行し、地域に密着した情報の提供を行い、地域農業や農業者個々の経営意欲を啓蒙し、意識の高揚を図る。				
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)			
総会開催回数			農地法3, 4, 5条の規定による許可件数					
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		
12回		12回				95件		
								%

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委員報酬	8,414,000	8,412,450	財源(割内訳)	国庫支出金	2,329,000	2,372,000
	旅費(費用弁償)	51,000	48,000		県支出金		
	需用費	313,800	304,169		地方債		
	委託料	356,000	355,404		その他		
	その他	666,200	620,190		一般財源	7,472,000	7,368,213
合計		9,801,000	9,740,213	合計		9,801,000	9,740,213
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.5	10,758,080				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである又は実績値を把握していない

## 4 ACTION

課題		改善策	
農業者年金の普及促進や農業委員会系統組織の広報誌「全国農業新聞」の普及は思うように進まない。		農業委員の戸別訪問、JAとの協働等	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他	成果指標は申請、許可数であることから目標値は定めるべきでない。		

課名	農林水産課	農林係	No	401
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
12 魅力と活力ある産業の振興	3 農業の振興	3	地産地消の推進	
事業名 農林水産まつり補助金				
款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目
細目	1 農業振興事業費	細々目	1 農業振興事業費	会計種別
事務区分(根拠法令)		自治事務	予算種別	継続 経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
農業・林業・漁業の第一次産業が全て参加するイベント。安全・安心な農産物が求められる中、地元農水産物を知ってもらい、地産地消を推進するための絶好の機会である。しかしながら、平成17年度から毎年補助金が減額(H17:70万、H18:45万、H19:15万)されており、イベントの規模を維持するのが難しくなっている。	農林水産業従事者相互の連携を図り、地場産農水産物や加工品を市内外へPR、地産地消・消費を喚起する。	関係者で実行委員会を形成、まつりの運営費の一部を助成する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
まつりの開催		来場者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	75%
1回	1回	2000人	1500人	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	150,000	150,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		150,000	150,000	
合計		150,000	150,000	合計		150,000	150,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
平成17年度から補助金が減額になり、イベントの規模を維持することが困難。	テナント料の徴収を行う等、補助金以外の収入を検討
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	



施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	3	地産地消の推進
事業名	地産地消推進補助金					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続 経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
旬菜惑星推進協議会は、生産者、流通、加工関係者、消費者等が連携した地産地消の推進や、流通販売の活性化を通じた地域農産物の生産・需要拡大を図るために設置された組織。JA、県、市場、企業がこれを推進している。近年の農業従事者の高齢化や減少により地域農業は低迷しており、生産意欲の喚起や、農山村の活性化が課題となっている。	地産地消を推進するために、生産者、市場、食品加工業者、行政が一体となって取り組んでおり、活動を通じて生まれた商品や特産品も出来ている。	旬菜惑星推進協議会への補助金交付。JA山口宇部山陽宮農総合センターに事務局を置き、年一回の総会を開催し事業計画を立てる。地産地消イベントの開催や、農業者、市場、加工業者等との連携による新たな特産品開発、顧客創造を進める取組を支援する。	
活動指標		成果指標	
自主イベントの開催や地域イベントへの参加		①共販野菜面積 ②イベント回数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
5回	7回	13.9ha 5回	19.21ha 7回
			①138 ②140 %

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	300,000	300,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		300,000	300,000	
合計		300,000	300,000	合計		300,000	300,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
農業従事者の高齢化、農業経営環境の厳しさから農業者は減少しており、生産量の減少が続いている。 米の生産調整が進む中、水稻以外の生産にシフトしていく必要があり、逆にそれをチャンスと捉え、新たな特産品の生産に取り組むような支援が必要である。	寝太郎かぼちゃ等、地域特産品の取組を強化し、生産者のより活発な活動を支援。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	3	地産地消の推進			
事業名	食品加工指導推進費補助金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成18年に旧市町の生改連が合併し現在の団体となる。現在、会員は33名いるが、今後さらに活動を広めていくためには、若い世代の参加が必要である。	イベント等へ積極的に参加するなど、農業者との交流や、地産地消推進のための活動を行っている。	農業の担い手との交流や地産地消の推進、地場産農産物を利用した特産品の開発等による地域農業の活性化を図る。地場産農産物を利用した料理を考案している。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
イベント参加回数		イベント参加人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	98.3 %
5回	4回	60人	59人	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	18,000	18,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		18,000	18,000	
合計		18,000	18,000	合計		18,000	18,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
活動状況は維持されているものの生改連会員数が減少・高齢化傾向。	積極的な勧誘を行い、農村の技術伝承等を推進。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	4	環境と調和した農業の推進			
事業名	市民農園管理運営事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	12	市民農園管理運営費	細々目	1	市民農園管理運営費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
旧小野田市域の烏帽子岩と高栄町の市民農園は、ほぼ全区画が利用されているが、旧山陽地域の沓山田市民農園は空き区画がある。農業者の高齢化や後継者・担い手不足等により、耕作されない農地が増加傾向にあることから、それらの農地が遊休農地化しないように活用する一つの方策として市民農園の設置を検討する必要がある。	非農家の一般市民が、農業体験を通じて収穫の喜びを味わうことができ、農業に関する理解を深めてもらえる。	烏帽子岩地区：44区画（1区画：25㎡）。高栄地区：45区画（1区画：30㎡）。沓山田地区：26区画（1区画：26㎡）。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
市民農園利用者数(人)		市民農園の利用率(%)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	88%
115	101	100(%)	88(%)	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	92,144	87,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
	委託料	120,000	120,000		県支出金		
	賃借料	54,000	54,000		地方債		
					その他	330,000	312,000
			一般財源				
合計		266,144	261,000	合計		330,000	312,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
・市民農園内の備品の盗難 ・ゴミの空き区画への投棄 ・隣接する利用者との境界をめぐるトラブル	盗難については警察署への被害届を提出。定期的な見回りや啓発等を行う。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	4	環境と調和した農業の推進			
事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	臨時	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、当該営農活動の実施に伴う追加的なコストを支援することにより、農業分野の有する環境保全機能を一層発揮させる。これまで、農地水環境保全向上対策事業の中で行われてきたが、戸別所得補償制度の本格実施に合わせ、個別の取組に対する支援として行われることとなった。		減農薬や有機農法により地球環境の保全に取り組む		対象者は、エコファーマー認定を受けており、農業環境規範に基づく点検を行っている。対象となる取組は、化学肥料、化学農薬の5割低減+カバークロープ等の作付や有機栽培等。国の支援単価は4,000円/10a。※国の支援単価は、国、地方公共団体の負担割合1:1を前提として設定されており、原則として国は、地方公共団体による同額の負担が行われた取組に対して交付金を交付する。 国支援分は国から直接支払。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
圃場面積			農業減化学肥料使用量		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
751a	83a	肥料 9.5kgn/10a以下 農薬 22回以下	肥料 1.6kgn/10a 農薬 12回		

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	301,000	33,200	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金	150,000	16,600
					地方債		
					その他		
				一般財源	151,000	16,600	
合計		301,000	33,200	合計		301,000	33,200
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	5	畜産業の振興
事業名	畜産基盤整備事業(小松尾地区)					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	新規
						臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
小松尾地区の団体草地開発事業(昭和51年度)で整備された畜産農業者の用水施設が老朽化しており、基盤整備する必要がある(事業主体は市)。また、平成21年度に土地所有者から現在の市長の任期終了後に土地の返還を求められており、24年度中には工事を完了し既存施設を撤去する必要がある。	畜産経営の安定。	大谷ポンプ場から上水道施設を整備する。PPΦ 25mm、L=600m		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
上水道施設の開設		受益畜産戸数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
1箇所	1箇所	1戸	1戸	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	9,398,000	5,432,700	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		9,398,000	5,432,700	
合計		9,398,000	5,432,700	合計		9,398,000	5,432,700
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要 事業完了
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	5	畜産業の振興
事業名	畜産振興事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	6	畜産振興事業	細々目	1	畜産振興事業
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 經常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
家畜の伝染病予防や家畜診療業務、死亡牛の適正処理、受胎率の向上など専門的な知識が必要となる分野について、市独自で行うことが困難となる業務等を専門機関と協力することによって適切な畜産振興を図る。	家畜の防疫、衛生、治療業務の推進を図り、家畜の疫病による損消を防止し、畜産経営の安定と地域畜産振興を図る。 対象：市内畜産農家6軒	中部家畜保健衛生推進協議会への家畜保健衛生・防疫推進業務補助金及び中部家畜診療所運営協議会への運営負担金等を支払う。 構成員：中部家畜保健衛生推進協議会・・山口市、防府市、宇部市、美祢市、本市 中部家畜診療所運営協議会・・山口市、防府市、宇部市、本市、県、各農協関係機関	
活動指標		成果指標	
中部家畜診療所運営協議会等へ参加		分娩頭数 予防接種数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
4件	4件	-	分娩70頭、予防247頭 予防533羽
			成果指標の到達度(B/A) %

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,856	2,856	財(源割内訳)	国庫支出金		
	負担金、補助	1,298,000	1,287,000		県支出金		
					地方債		
					その他	139,914	139,914
			一般財源		1,160,942	1,149,942	
合計		1,300,856	1,289,856	合計		1,300,856	1,289,856
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである 又は実績値を把握していない

### 4 ACTION

課題	改善策
家畜伝染病の発生時の対応	中部家畜保健衛生所等関係機関との密な情報交換、連携を図る。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	6	中山間地域の活性化
事業名	中山間地域等直接支払交付金					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	細目	11	中山間地域等直接支払推進事業	細々目	1	中山間地域等直接支払推進事業
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
この制度は平成12年度から始まり、平成22年度から3期目となる。現在、耕作放棄地の防止が重要な課題となっており、農地水環境保全向上対策とあわせ、農地及び農業施設の保全のため重要な役割を果たしている。	耕作放棄地の防止。自立的かつ継続的な集落営農による農業生産活動の体制整備に効果を上げている。	中山間直接支払制度は、条件不利地の農業生産活動や農村の生活の維持、耕作放棄地の防止などを目的としており、現在5地区が市と協定を結び活動を実践している。本市の6集落は、知事の定める特認地域として事業を実施している。	
活動指標		成果指標	
集落協定数		協定面積	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
5地区	5地区	18.29ha	18.29ha
成果指標の到達度 (B/A)			
100 %			

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	3,880,000	3,787,360	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金	2,590,000	2,524,905
					地方債		
					その他		
			一般財源		1,290,000	1,262,455	
合計		3,880,000	3,787,360	合計		3,880,000	3,787,360
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
協定農用地の適切な管理	定期的な見回り。協定集落に対する適時指導。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	6	中山間地域の活性化
事業名	中山間地域づくり推進事業					
予算費目	款		項		目	
	細目		細々目		会計種別	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
中山間地域の過疎化、少子高齢化の進行などに伴い、耕作放棄地や荒廃森林の増加などが進んでいる。 中山間地区において、持続可能な地域づくりが必要とされている。	中山間地域で培われてきた地域資源を積極的に活用し、活力と魅力ある中山間地域づくりを進めための施策展開を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間直接支払制度を活用している6地区(奥ノ浴、平沼田、宗末、鑄物師屋、松岳畑、粃の木)を中心に活性化に向けた取組を行う。</li> <li>中山間地域のコミュニティづくり</li> <li>山口県との連携、県事業の活用</li> </ul>		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
中山間地域(6地区)との連絡調整		中山間地域の活性化のための取り組んだ事業数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	0
6(地区)	0(地区)	1(件)	0(件)	
				%

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
				一般財源			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

### 4 ACTION

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業展開を考えているが、地域の課題解消に有効な手立てが、見出せず苦慮している。</li> <li>携帯電話の電波通信やインターネット通信の条件が悪い地域がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山間部の地域交通の課題については、デマンド交通の導入に向け、検討している。</li> <li>高速通信ネットワーク(光ケーブル)について、厚狭地区以外も利用できるよう、民間事業者に引き続き、事業実施を要望をする。</li> <li>厚狭地区では、公共施設再編事業が進んでおり、中山間地域づくりにも活用できるように計画する。</li> </ul>
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A	B
計画どおり事業を進めることが適当	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要
その他	ゼロ予算事業